

長野県歌「信濃の国」

信濃の国は 十州に

境連ぬる 国にして

聳ゆる山は いや高く

流るる川は いや遠し

松本 伊那 佐久 善光寺

四つの平は 肥沃の地

海こそなければ 物さわに

万ず足らわぬ 事ぞなき

VOTE FOR NAGANO

# まにこん!

- Shinshu Manifesto Comparison -

2014年 長野県知事選挙 マニフェスト 実現可能性比較表

候補者名	まにこん!				政策分野	【野口しんぼん】		地域事情 に対する 強み
	目標の 達成	実現の 確率	実現の 時期	実現の 手段		目標の 達成	実現の 確率	
伊藤信太郎	○	○	○	○	子育て・教育	○	○	○
田中さとし	○	○	○	○	医療・福祉	○	○	○
高橋洋一	○	○	○	○	産業・観光	○	○	○
山本浩一	○	○	○	○	経済・雇用対策	○	○	○
山本浩一	○	○	○	○	農林業・中山間地支援	○	○	○
山本浩一	○	○	○	○	観光・文化・環境	○	○	○
山本浩一	○	○	○	○	県政運営・行政改革	○	○	○

※実現可能性は下記の内容により、10点満点で採点  
 ① 実現可能性が高いか  
 ② 実現可能性が中程度か  
 ③ 実現可能性が低い  
 ④ 実現可能性が不明  
 ⑤ 実現可能性が不明  
 ⑥ 実現可能性が不明  
 ⑦ 実現可能性が不明  
 ⑧ 実現可能性が不明  
 ⑨ 実現可能性が不明  
 ⑩ 実現可能性が不明

## 若い世代「県政に僕たちの声を」



候補者の公約を読み、意見を交わす参加者。8日夜、長野市画像の一部を加工しています。

県出身大学生ら長野で公約比較する催し

### 地元の将来思い「投票して存在感を」

首都圏の県出身学生ららのグループ「VOTE FOR NAGANO」(ボートフォーナガノ)は10日、知事選(10日投票)の立候補者の公約を比較する催し「知まにこん」を長野市で開いた。若い世代の選への関心を高め、投票を促す試み。高校生や大学生、元々の若者の人が参加し、投票先を交えながら、地域の将来像にも思いを注いだ。

企画した信州大の大学院生田中(優)さん(24)は本市出身で「街頭、最悪の現状を解消。今後は高齢者が抱えている年齢別人口の将来推計や、制度が多岐にわたる。その上で、知事選候補で選挙運動をしている現職部守(一)さんの公約を比較する(1)の公約を比較する」。政策を具体的に分析し、田中さんらは「選成の事後検証は可能」といった視点を提供し、それぞれが点数を付けて意見を交わしていた。



田中さんらは、大卒院で公共経営を専攻。地域の人口や資源を生かす、雇用を生み出すことで地域課題の解決を図る「コミュニティデザイン」に関心があるという。都議選議員の事務所でインターンとして活動し、政研に関わった。総務省によると、近年の国政選挙の20%の投票率が、自治体レベルで選挙率も高くないという。田中さんらは「選挙は義務が重く感じられがちだが、自分の書いている論議がある。その中で、誰かが考えた社会の未来、投票をしよう」と話していた。



**VOTE FOR NAGANO**